

ロゴマークに投票しよう!!

小樽市日本遺産推進協議会による1次選考の結果、裏面の3作品が選定されました。
あなたの1票がロゴマークを決定します!ぜひご投票ください!



写真提供/小樽市総合博物館



「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」 ～「民の力」で創られ蘇った北の商都～」

かつて、小説家小林多喜二は、小樽のまちをこのように表現しました。

「人口十五六万の、街並が山腹に階段形に這い上った港街で、
広大な北海道の奥地から集まってきた物産が、そこから又内地へ出て行く謂わば北海道の『心臓』みたいな都会である。」

——— 小林多喜二「故里の顔」

その「心臓」は、全国各地の人々と文化を取り込み、日本の近代化を支える物資を送り出し、金融という名の血液を循環させました。

しかし、高度経済成長の変化に取り残され、次第に「心臓」の鼓動は弱まりました。

「心臓」の鼓動を再び取り戻させたのは、市民の手でした。失われようとしていた「古いもの」に新たな価値を付与し、歴史を活かしたまちづくりを推進しました。

いま、「心臓」は、全国に誇る観光都市として脈打っています。
市内に残された文化財や歴史的遺産は、「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」の誕生、繁栄、衰退、そして再生の記憶を物語っています。

投票期間 令和3年

2月1日(月)～2月17日(水)

※消印有効

ロゴマークの募集に全国から188件応募がありました!

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」～「民の力」で創られ蘇った北の商都～は、小樽の歴史を物語るストーリーです。このストーリーを多くのみなさんと共有し、また、市内に残された文化財や歴史的遺産、街並みを感じていただきたいと思います。ロゴマークを募集しました。全国から188件の応募をいただきありがとうございました!

下のハガキを切り取り、裏面に必要事項をご記入の上、切手を貼ってポストに投函してください。ファックス・オンライン・投票箱での投票も受け付けます(詳しくは裏面をご覧ください)。2月下旬には決定予定です。公式サイト「小樽文化遺産ポータル」にて発表します。

切り取り線 ✂

POST CARD

63円切手を
貼って
ください。

0 4 7 0 0 3 1

切り取り線 ✂

小樽市色内1丁目9番6号

株式会社オー・プラン内

小樽文化遺産情報発信・

普及啓発事務局 行

ストーリーに触れて、小樽の街並みのすばらしさを感じてください。

<http://www.otarubunkaisan.jp>

小樽文化遺産ポータル

検索

あなたの一票で決まる、ロゴマーク!!

▼ロゴマーク選定3作品▼

【投票期間】

令和3.2/1(月)～

2/17(水) ※消印有効

A

■制作したときの思いや意図など

北海道の心臓だった時代を歴史的建造物や小樽運河が物語り、その歴史を誇りに思い次世代へと繋いでいきたいと思う市民の気持ちや小樽の過去と現在、そして未来を繋ぐものは「鼓動」だと思いましたのでOTARUの「O」をモチーフに動き続ける「小樽の鼓動」をシンプルで力強く表現しました。



Otaru, a town called the
"heart" of Hokkaido

B

■制作したときの思いや意図など

小樽が北海道の心臓であるなら、運河や鉄道など小樽の代表的な場所は血管だと思います。運輸が発展したからこそ、北海道の地方が繋がりがやすくなっています。ロゴマークのデザインは主に運河、船と鉄道をイラストにして、色付けは血管を表現できる色を使っています。



C

■制作したときの思いや意図など

小樽が起点となって北海道を形づくっている様子をマークにしました。「心臓」であることが伝わりやすいようにハートの形を取り入れ、「ゴールドラッシュさながらの時代」を、ディープカラーで表現しました。ロゴタイプの英語は、古代ローマ帝国時代から愛されている書体を起用し、マーク全体を歴史を感じさせながらもスタイリッシュに仕上げました。



北海道の「心臓」と呼ばれたまち
OTARU

切り取り線 ✂

「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」ロゴマーク 投票用紙

A

B

C

いずれか1点のみを○で囲んでください
(2点以上選んだ場合は無効とさせていただきます)

下記を明記の上ご投票ください(投票はお一人につき1回限りとさせていただきます)

性別	男 ・ 女
年齢	☐ 10歳未満 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80歳以上
職業	☐ 会社員 ☐ 自営業 ☐ 団体職員 ☐ 公務員 ☐ 学生 ☐ その他
ご住所	小樽市() ※花園、桜、稲穂等、地区名のみ記入してください

次のアンケートにご協力ください。

●日本遺産を知っていますか
(知っている / 知らない)

●小樽市は2つの日本遺産と小樽の歴史を伝えるストーリーがありますが、知っていますか(複数回答可)
(北前船寄港地・船主集落 / 炭鉄港 / 北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽 / 知らない)

●小樽文化遺産ポータルホームページ・SNSを見たことはありますか(複数回答可)
(ホームページ / Facebook / Instagram / Twitter / 見たことはない)

●地域の文化に誇りを感じていますか
(よく感じている / 少し感じている / あまり感じない / まったく感じない)

令和3年2月17日までに投票ください

※ご記入いただいた個人情報は当事務局で責任を持って管理し、
本件にのみ使用いたします

投票応募要項

【投票資格等】

小樽市民ならどなたでも投票できます。お一人につき1票に限りです。

【投票方法】

①投票ハガキでの投票

左記のハガキを切り取り、63円切手を貼って投函してください。

②ファックスでの投票

左記のハガキを切り取らずにチラシ裏面ごとファックスしてください。
ご家族など複数での投票の際にはコピーしてご使用ください。

③オンラインでの投票

右のQRコードより投票フォームに沿って投票してください。

※投票にはグーグルアカウントが必要です。



④投票箱での投票

下記の市内13カ所に投票箱を設置しています。備え付けの投票用紙か、投票ハガキ(この場合切手を貼る必要はありません)で投票してください。設置場所により窓口業務時間、休業日、休館日がありますのでホームページでご確認の上、投票をお願いします。

小樽市役所本館(市役所本庁舎連絡通路)、駅前サービスセンター、塩谷サービスセンター、銭函サービスセンター、小樽市観光物産プラザ(運河プラザ)、市立小樽文学館・市立小樽美術館、市立小樽図書館、小樽市勤労女性センター、小樽市勤労青少年ホーム、小樽市総合博物館本館、小樽市総合博物館運河館、ウイングベイ小樽1F総合インフォメーション、小樽堺町通り商店街観光案内所

【投票期間】

令和3年2月1日(月)～2月17日(水) ※消印有効

FAX 0134-29-0594

ハガキを切り取らずにこのままファックスしてください